

R3年度特定復興再生拠点を中心とした モニタリング結果について

2021/09/08

国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構
福島研究開発部門 南相馬

a) 無人ヘリ

無人ヘリコプター
ヤマハ発動機社製 FAZER



無人ヘリ搭載放射線検出器
LaBr3シンチレータ検出器
・ 検出器サイズ：1.5" Φ × 1.5" × 3本
・ 1秒毎に測定



★50mメッシュでマップ作成

b) 歩行サーベイ

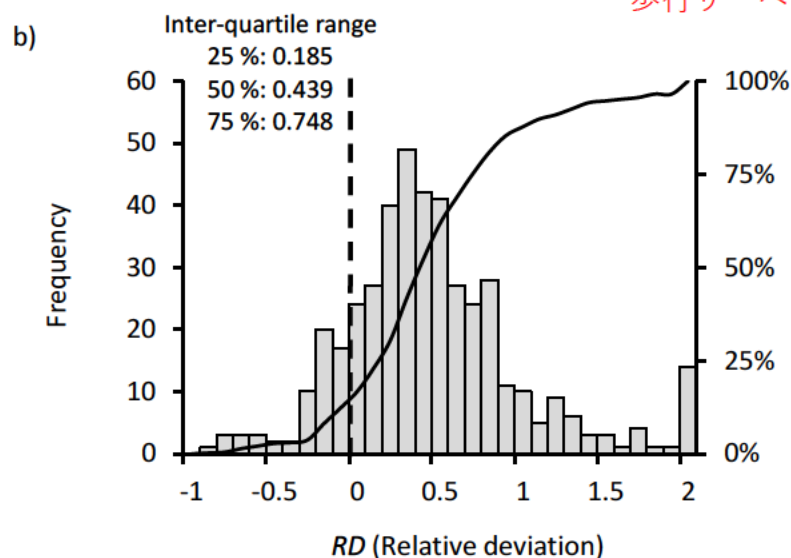
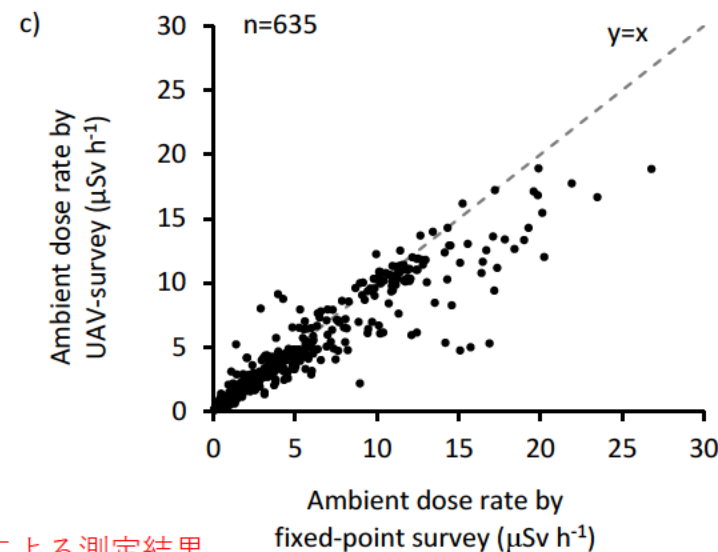
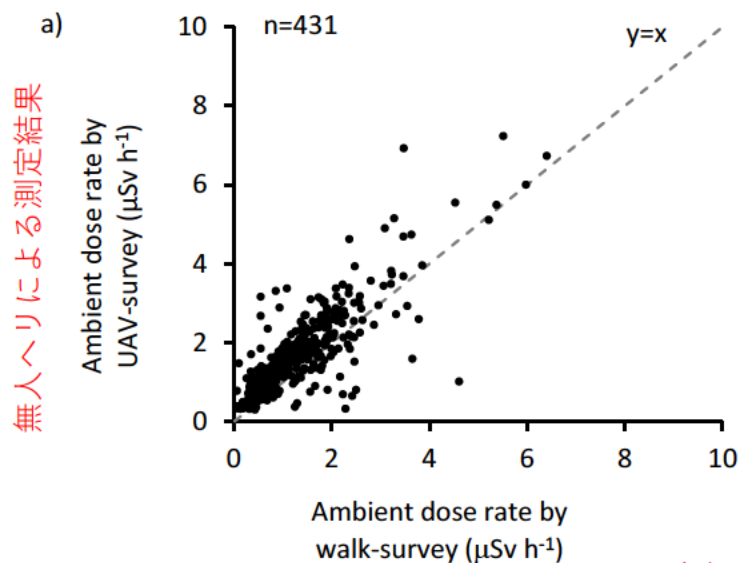
地上測定放射線検出器
CsIシンチレータ検出器
・ KURAMA-II
・ 検出器サイズ：13 x 13 x 20 mm
・ 歩きながら1秒毎に測定



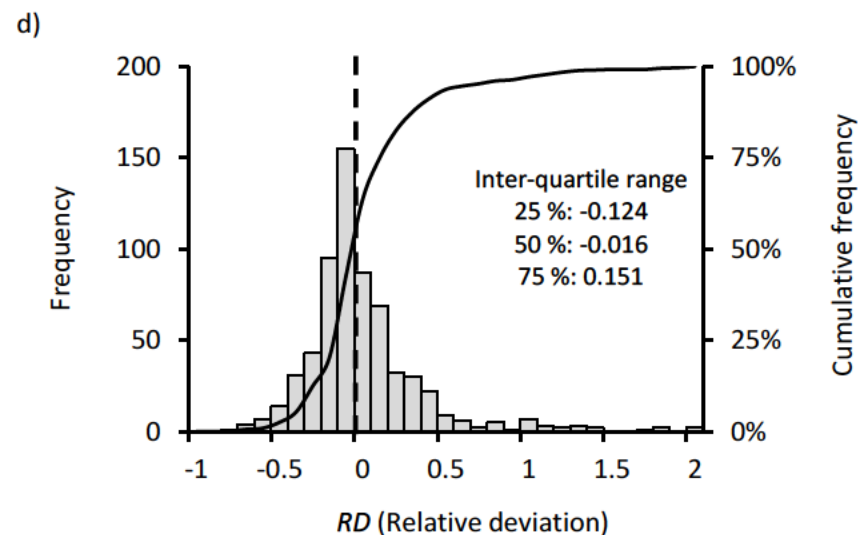
★10mメッシュでマップ作成

歩道上

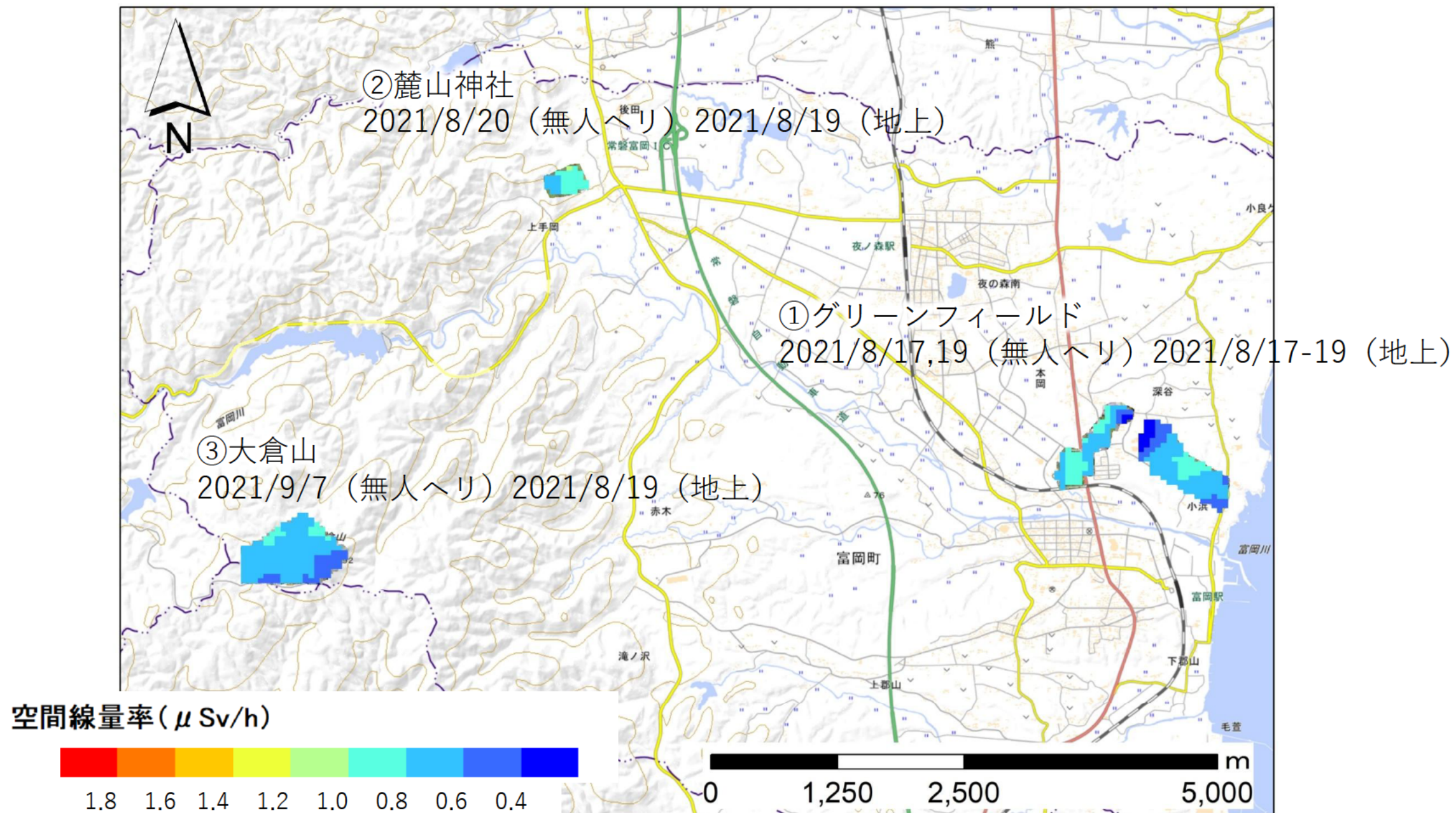
平たんな土壌上

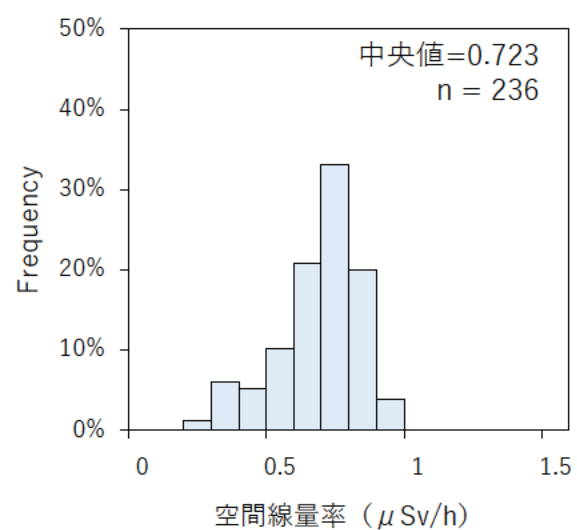
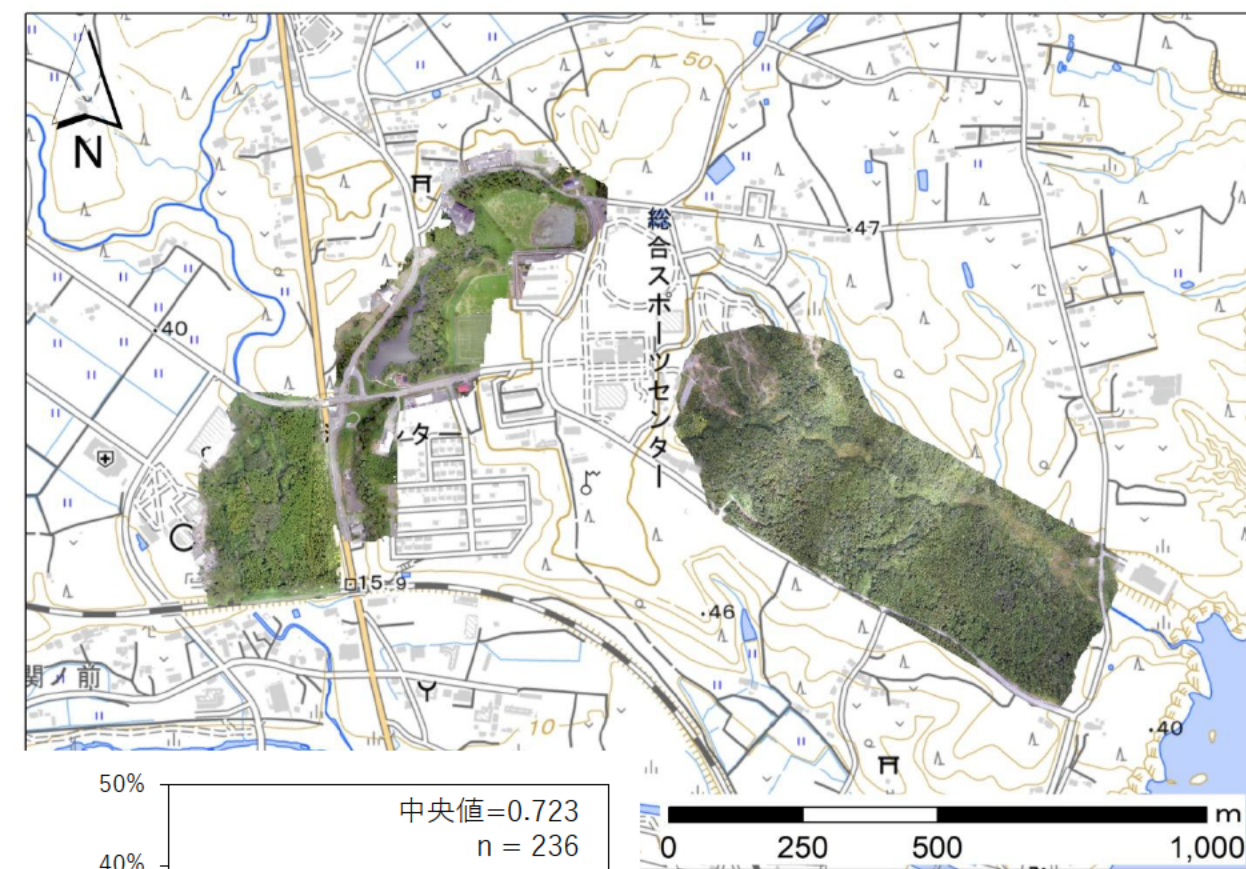
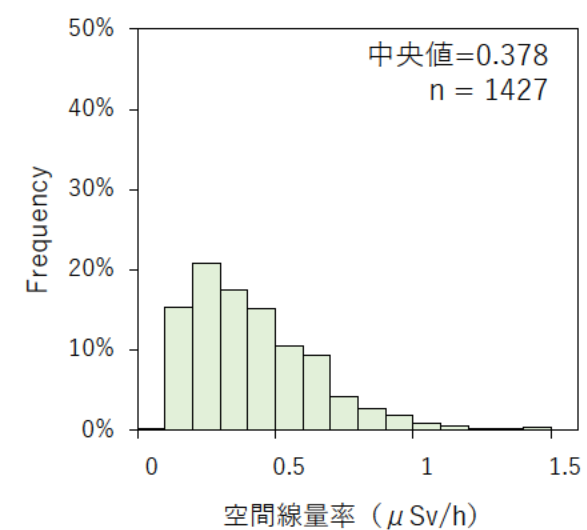
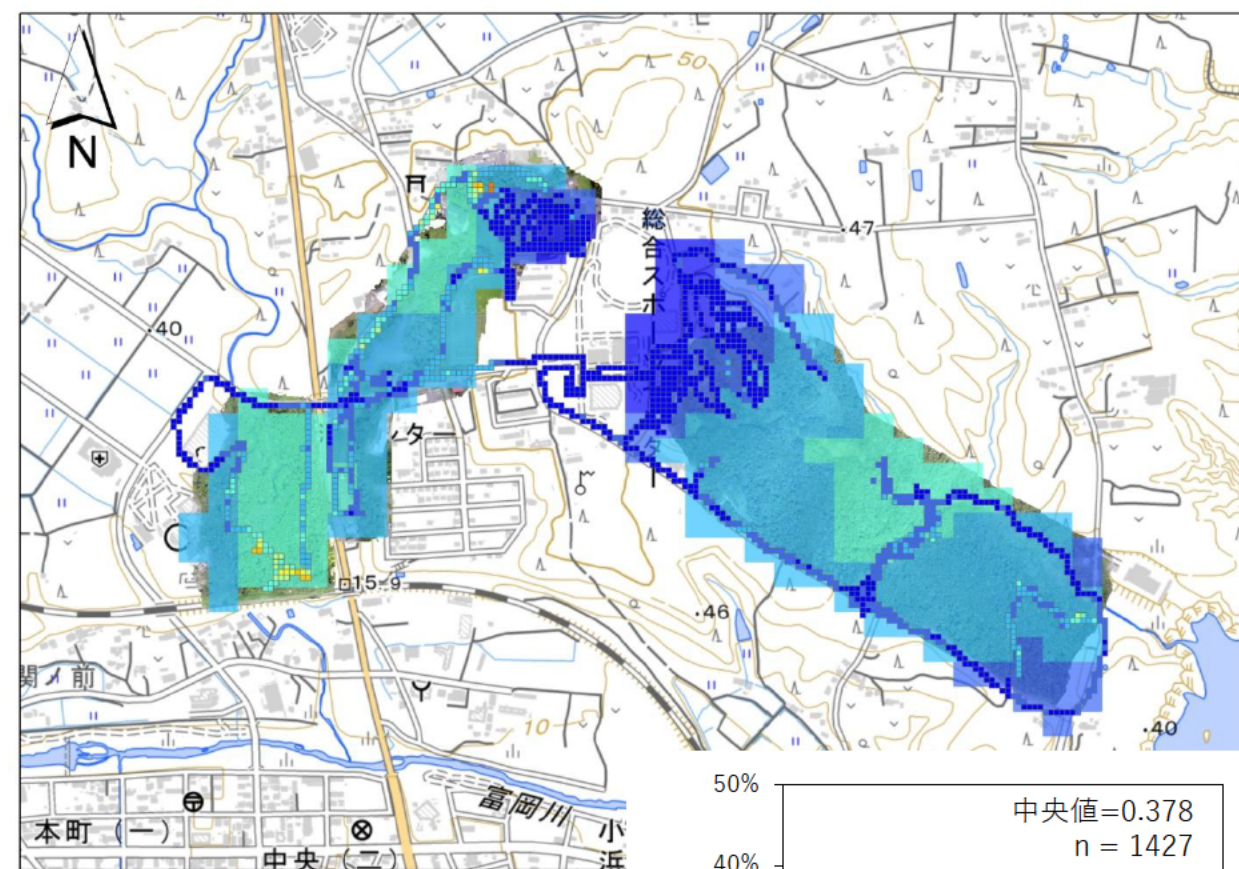
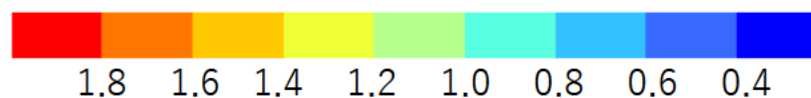


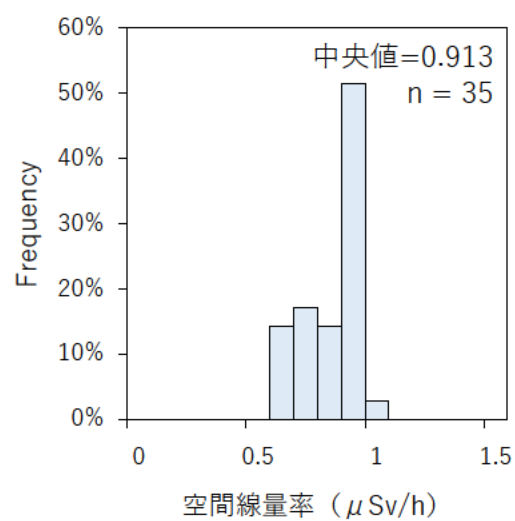
歩行サーベイによる測定結果



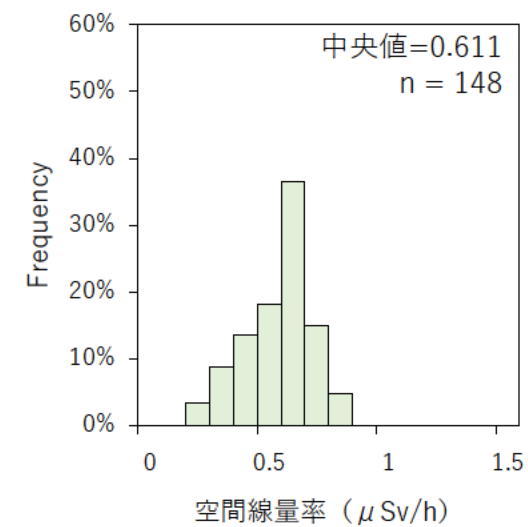
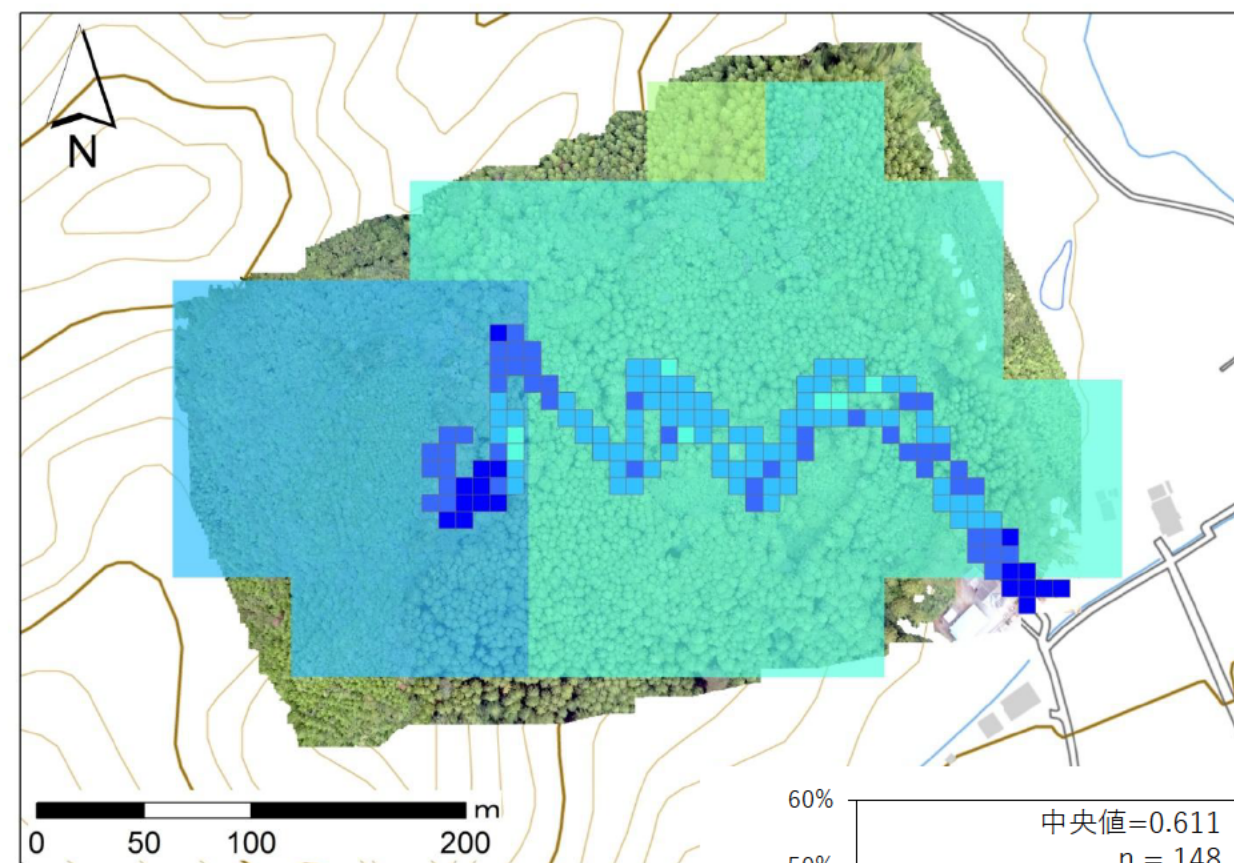
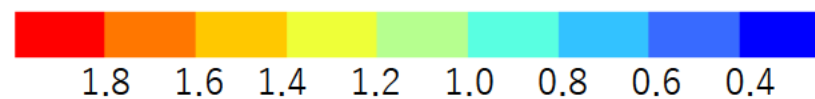
★道路上 (アスファルト上) は放射性物質が流されやすく局所的に線量が低くなり、地上との整合が悪くなる

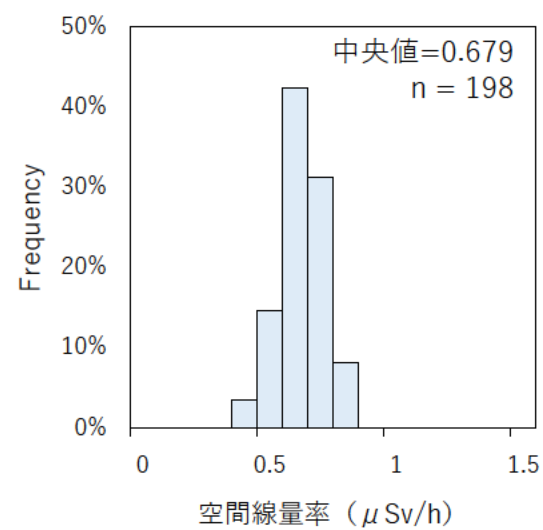
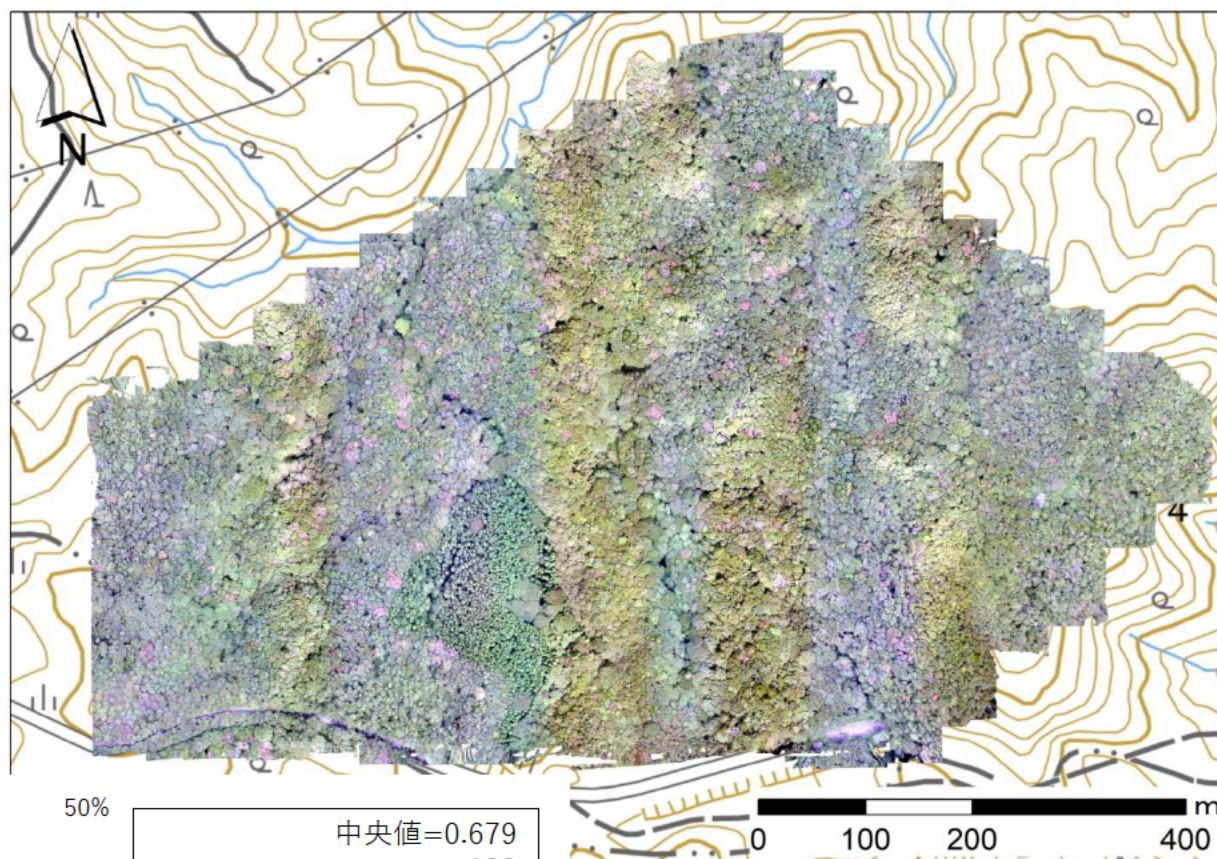
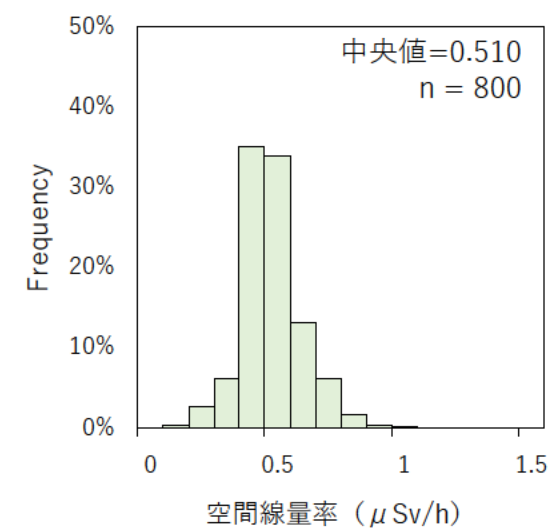
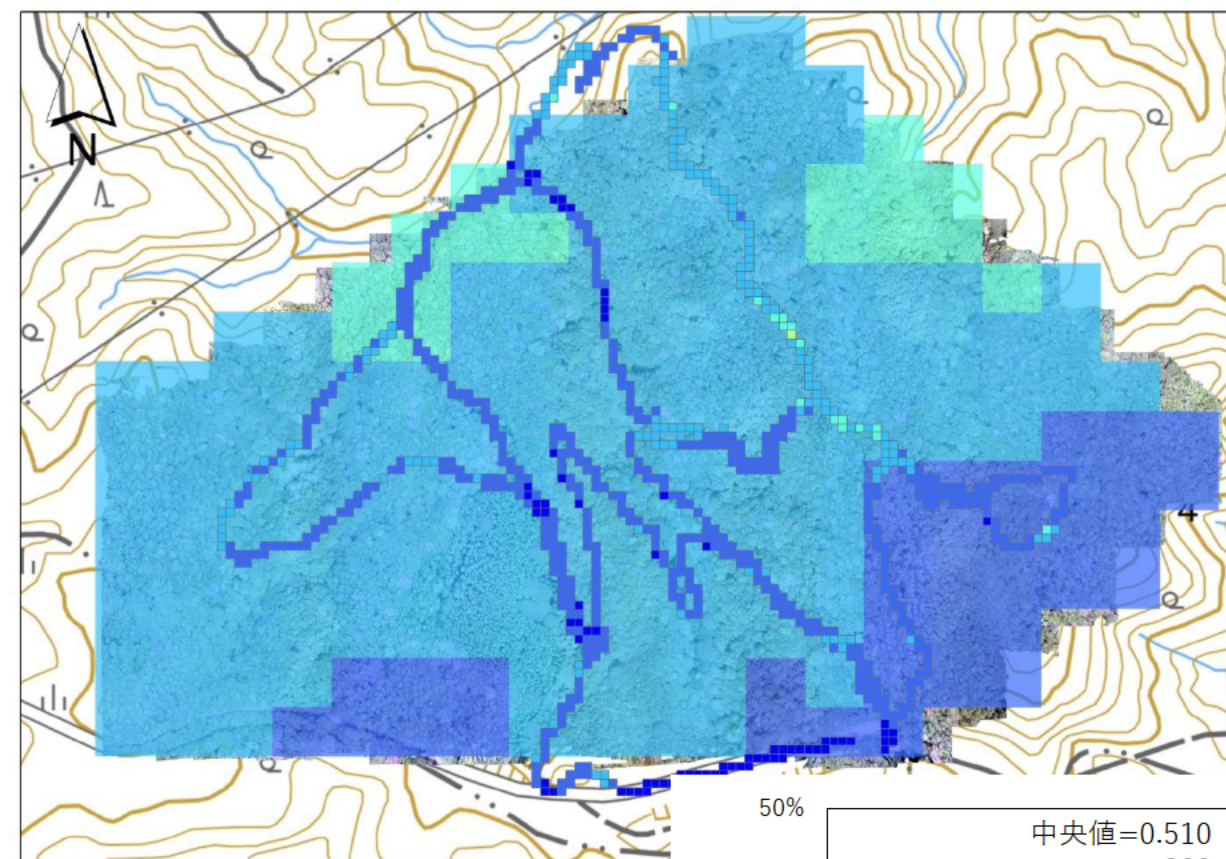
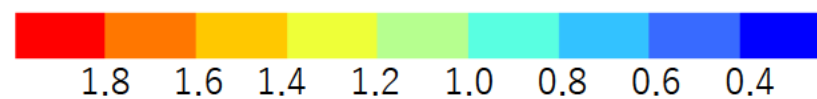


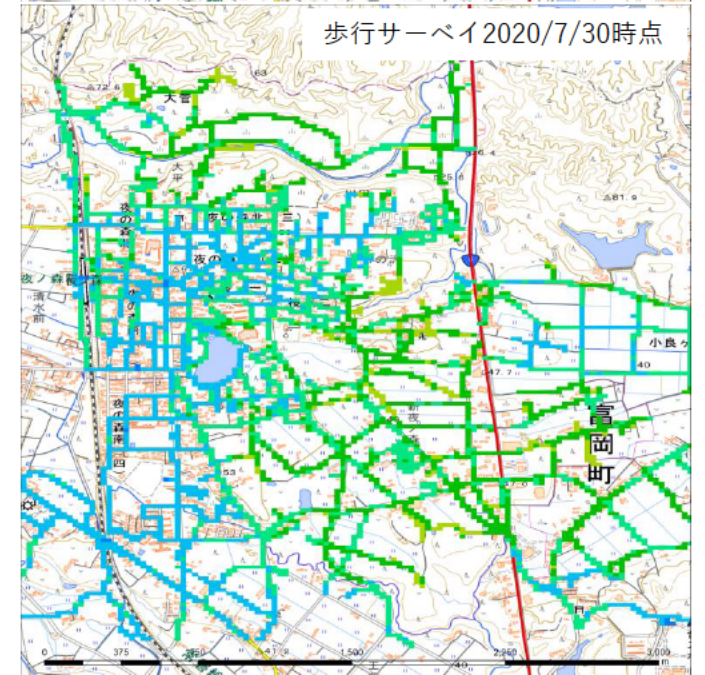
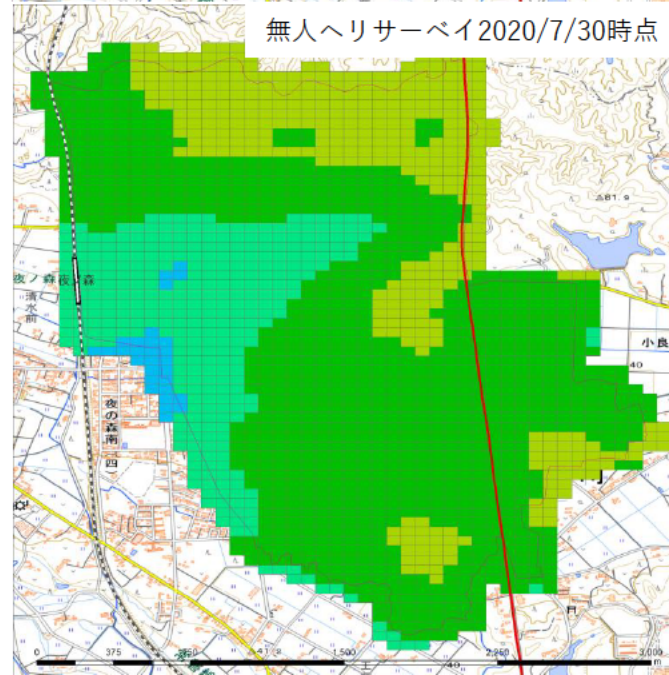
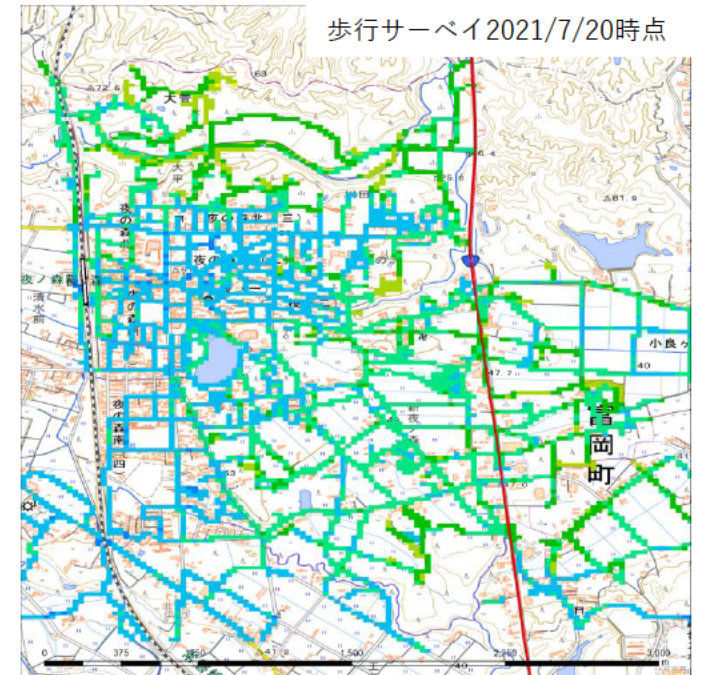
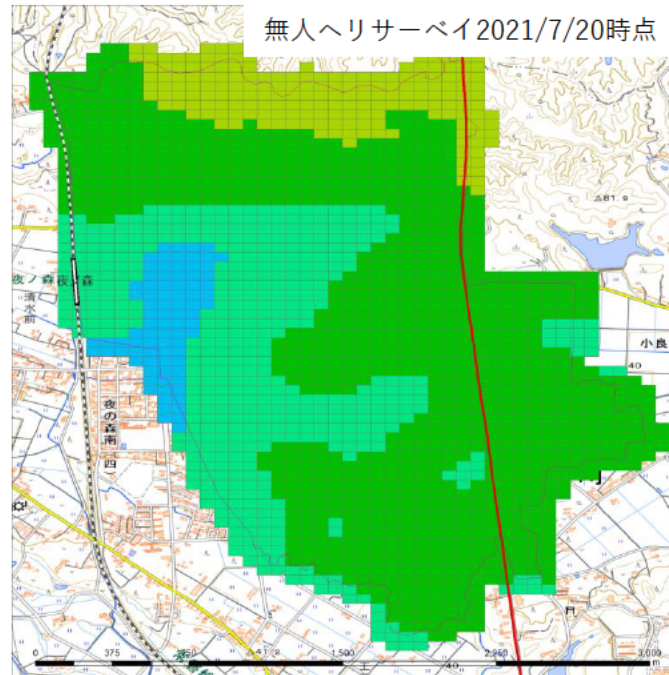
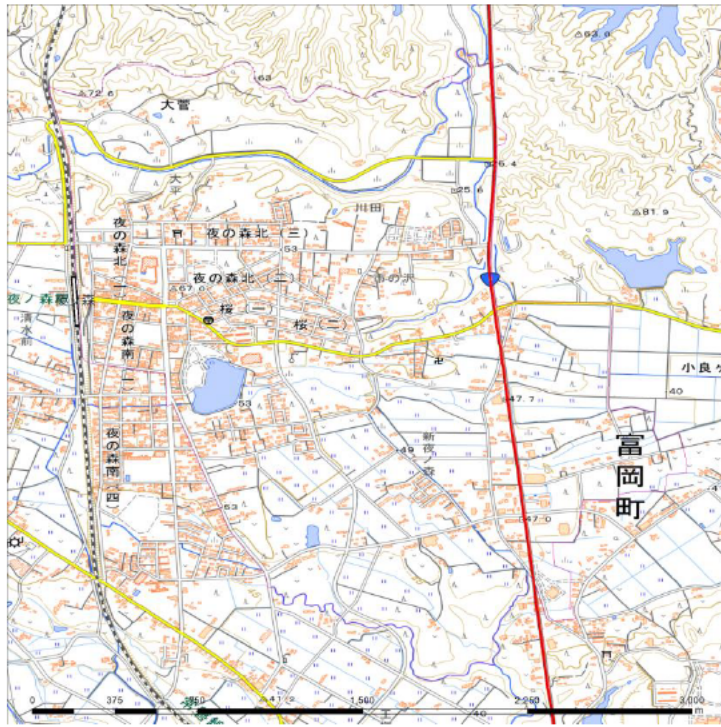
空間線量率 ($\mu\text{Sv/h}$)



空間線量率 ($\mu\text{Sv/h}$)

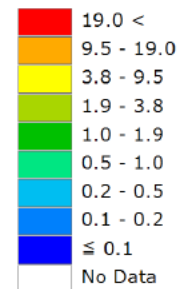


空間線量率 ($\mu\text{Sv/h}$)



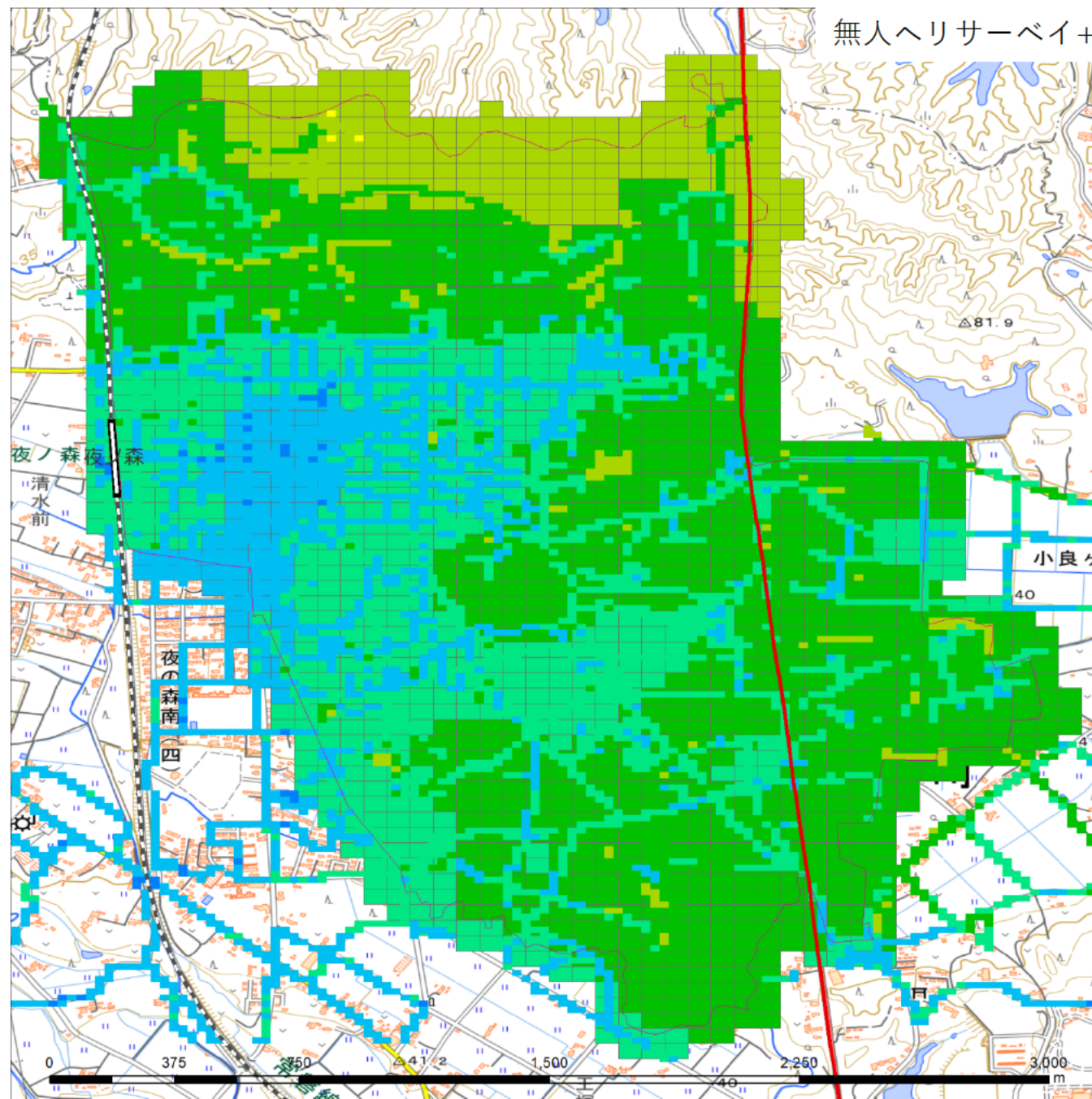
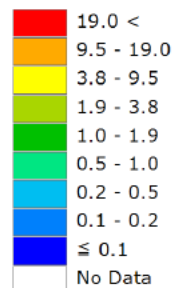
凡例

地表面から1m高さの
空間線量率($\mu\text{Sv/h}$)

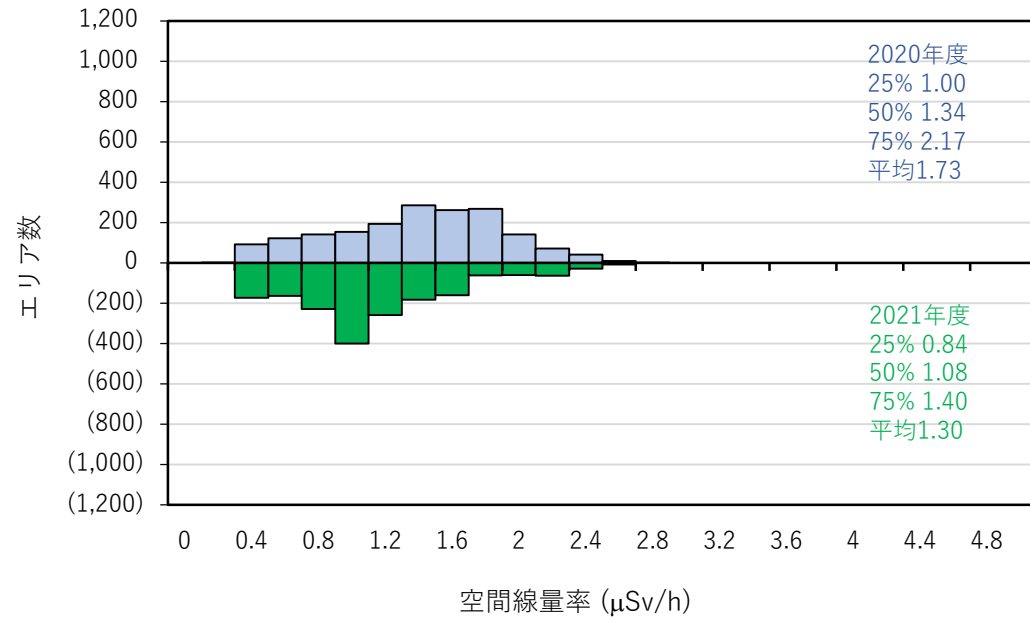


無人ヘリサーベイ+歩行サーベイ 2021/7/20時点

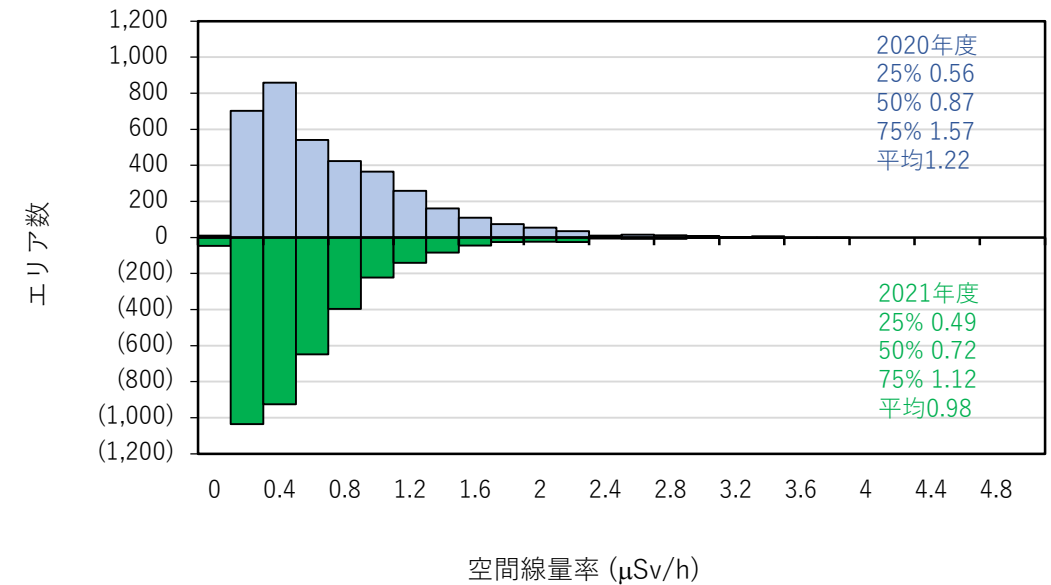
凡例
地表面から1m高さの
空間線量率($\mu\text{Sv/h}$)



無人ヘリサーベイ



歩行サーベイ



歩行サーベイは無人ヘリに比べて歩道上（舗装上）の測定が多い
舗装上の放射性セシウムは雨水などで洗い流されるため、周辺に比べて線量が低くなることが知られている